

## 第 26 回青森県障害者スポーツ大会バレーボール競技規則

本競技は平成 30 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制競技規則に準拠する。  
また、青森県障害者スポーツ大会バレーボール競技特別ルールを設ける。  
但し決勝戦については、全国障害者スポーツ大会バレーボール競技規則に準拠する。

### 第 1 条 チーム

1. チーム構成は監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名及び選手 12 名以内とする。
2. 男女混合でチームを構成する。

### 第 2 条 競技方法

1. 競技はトーナメント方式とし、3 位決定戦は実施しない。ただし、出場チーム数により競技形式を変更する場合がある。組み合わせは、主催者において代理抽選を行い決定する。
2. コートは 18m×9m の広さを持つ長方形とする。
3. ネットの高さは 2m24cm とする。
4. 試合球は日本ソフトバレーボール連盟公認球のソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製円周 78±1cm、重量 210±10g）とし、主催者が用意する。
5. 全試合は 3 セットマッチとし、2 セットを先取したチームを勝ちとする。
6. 1 セット 15 点のラリーポイント制とする。なお、得点が「14 対 14」の同点になった場合、それ以降は 2 点リードしたチームをそのセットの勝者とする。
7. 第 3 セットは、15 点制で行い、コートチェンジはいずれかのチームが 8 点を先取したときに行う。
8. 試合中は少なくとも 1 名以上の女性プレーヤーが出場していなければならない。
9. 試合はワン・ボールシステムで行う。
10. それぞれのチームには、1 セットにつき最大 2 回のタイムアウトと、6 回の競技者の交代が認められる。（監督者あるいはゲームキャプテンのみが要求できる）交代の際には、6 人制競技規則に基づいた交代の方法を取る。
11. スタートアップ・ラインアップの競技者は交代によりコートを離れても、1 セットにつき一度だけスタートアップ・ラインアップの元のポジションに戻るることができる。
12. タイムアウトは 1 セットにつき 2 回（1 回 30 秒）取ることができる。
13. 例外的な交代として、負傷した競技者の代わりに、その時点でコート上にいないいずれかの競技者と交代ができる。  
交代後も必ず女性選手が 1 名以上出場していなければならない、不可能な場合にはその時点でゲーム終了とし、そのセットより無効となり不戦敗とする。
14. サービスの実行
  - (1) 主審がサービス許可の吹笛後 8 秒以内にボールを打たなければならない。
  - (2) サーバーはエンドラインの後方、かつサイドライン延長線の内側で打たなければならない。その際にエンドラインを踏んではならない。
  - (3) サービスはボールがトスされたか手から離された後、片方の手または腕で打つ。（片方の手の平に置いたままのボールをもう片方の手で打つことはできない）

- (4) サーバーがボールをヒットするまでは、ローテーション・オーダーに従って位置し、ヒット後ボールが手から離れた瞬間から自由に移動してプレイすることができる。
15. サービスを直接アタックもしくはブロックして相手コートに返すことはできない。
16. リベロプレーヤーの登録は、チームで決めても良い。登録する場合は、リベロプレーヤーは他の競技者と区別できる色のユニフォーム（もしくはビブス）を着用すること。

### 第3条 服装

1. チームユニフォームは統一したものを着用し、背番号がはっきり見えるようにすること。なお、背番号は1番から12番までが望ましい。
2. 背番号は、ビブス等の着用による代用も認めるが、選手の背番号は固定とする。
3. チームキャプテンは胸のナンバーの下にマーク（横線）を付けなければならない。

### 第4条 監督、コーチ、キャプテン

1. 競技中断中の時、ゲームキャプテンだけが審判に対して話すことができる。
2. 監督はベンチの記録係席に最も近い位置に座る。ただし、下記の通り一時的にベンチを離れても良い。
3. 監督は試合を妨害あるいは遅延しない限りアタック・ラインの延長線からウォームアップ・エリアまでのフリー・ゾーンの範囲では、立ったまま、あるいは歩きながら指示を与えることができる。
4. コーチはベンチに座るが、試合に介入することはできない。
5. 監督、コーチ、マネージャーは左胸部に規定のマークをつけること。

### 第5条 決勝戦

1. 試合は3セットマッチとし、2セット先取したチームを勝ちとする。
2. 各セット25点のラリーポイント制とする。  
なお、得点が「24対24」の同点になった場合、それ以降は2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。
3. 第3セットは25点制で行い、コートチェンジはいずれかのチームが13点を先取したときに行う。
4. その他、第2条の競技方法と同じ。

### 第6条 出場権

この大会に優勝したチームは、次年度全国障害者スポーツ大会 北海道・東北ブロック予選大会への出場権を得る。ただし、優勝チームが辞退した場合は、順次、順位の上位チームとする。

### 第7条 その他

1. 試合設定時刻の11分前にプロトコール（コイントス・記録用紙へのサインを経てから公式練習へ）を行う。
2. 競技規則に定めがないものは、6人制競技規則によるものとする。
3. 応援に関しては、吹笛に支障を与える鳴り物は使用しないこと。